

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	四季の森公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

利用者数については、7月以降の天候不順にもかかわらず、全般的には若干増となっており概ね良好と判断する。収入支出については、節電の努力を行ったこと等により、より支出を抑えることができ、また、日常的な維持管理も大変良好である。苦情・要望等に対する対応状況については、相手方に不快感を与えない接遇が望まれるところである。地域との連携も積極的に図っている姿勢が見受けられ、運営においても工夫が見られることからB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月11日	○	○	○	無	
5月	6月8日	7月10日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月31日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月29日	○	○	○	有	県を代行している自覚を持ち、責任を持った苦情対応を取ることを指導
8月	9月10日	10月12日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月22日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	現在本公園に欠けている里山の植物を付加しながら「里山らしさ」の密度を高め、里山フィールドミュージアムとして、それにふさわしい景観を創る。	一年を通し里山の自然が楽しめる公園を目指し、自生植物の保護管理に努めると共に、カタクリ・セツブンソウ・スイセン・ヒガンバナなどの野草の付加植栽を行った。またナノハナ・コスモスの花畑に加え、西口～ちびっこ広場間に、来園者が播種参加したソバ畑を作り、新しい里山の景観を創出した。その他、じゃぶじゃぶ池石組にヒメウツギを、遊具広場前にケイトウの花を咲かせるなど、多様な里山里地の景観を作った。 また公園の自然を広く紹介することを目的に、平成23年度に発刊した花図鑑に引き続き、公園の生物図鑑に当たる「四季の森公園の生き物たち」を発刊した。

	提案内容	実施状況
2	<p>現在森の管理、稲作に協力して頂いているボランティアの皆様と共に地域文化の継承と里山の魅力を伝えるイベントを実施する。各ボランティアの意見を尊重し、お互い交流を深めるために連絡協議会の発展を図る。</p> <p>また、地域と一体になって公園まつりを企画実行し、地域と公園の関係・連携を深める。</p>	<p>公園で活動をする「稲作づくりの会」と共に、近隣小学校4校に里山の地域文化を継承するために、田植、稲刈り、餅つき、稲藁のリース作りという年間を通じた活動をしている。また里山の整備を行っている「四季の森里山研究会」と協力して、近隣小学校の自然体験教室を行った。こうした各ボランティアは連絡協議会として連携し、4月29日の四季の森公園まつりではテント出店をし、各会の紹介と新人勧誘を行い、今年から新たに新出店した横浜市新治市民の会、動物公園ズーラシアと連携を図った。</p>
3	<p>管理事務所やビジターセンターは公園の情報発信拠点として、里山の仕組みや公園の特徴を始め、動植物情報、ボランティア活動情報・イベント情報など、常に新しい展示を行っている。</p>	<p>北口の管理事務所やビジターセンターは公園の情報発信拠点として、また公園の賑わいの核と位置付け、公園の生物と植物情報を約10日間隔で更新しつつ掲示し、その紹介を行っている。さらにビジターセンター内に大型の生物情報パネルを設置し、公園からの情報発信だけではなく、来園者からの情報を書き込める参加型の掲示版を新設した。また季節に合わせ、園内にクイズ形式の掲示をし、回答とその解説をビジターセンターでおこなったり、公園利用者の要望により、絵画、廃材工作、写真の展示会を行うなど、新しい情報紹介と、利用者による文化的な発表の場として活用した。</p>
4	<p>駐車場の運営はサービス向上を第一に、駐車位置の案内、見所の紹介によりハートフルな対応で利用しやすい運営を行うとともに、入り口付近の渋滞などにより、交通や周辺地域の方々に迷惑をかけない運営を行います。</p>	<p>駐車場は清掃を徹底し、入口における公園情報提供、案内チラシ配布など接遇に努めた。また危険な箇所には一旦停止の注意版看板を設置し、路面に白線を引き注意を喚起するように改良した。大きなイベントや連休時は臨時駐車場を開設し渋滞解消に努めるとともに、駐車待ちによる近隣施設や会社に迷惑の無いような対応を行った。</p> <p>ホテルの見頃期間は駐車場を9日間、夜間午後9時まで延長し、近隣への迷惑駐車が起きないようにし、また近隣の大型店舗に公園のイベント情報を提供、目的外駐車場の注意看板を設置するなどの連携を行った。</p>
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		87,053	—	12,723	99,776	99,776	0
予算額	前年度	78,330	—	11,929	90,259	90,259	0
	上半期	39,330	—	6,997	46,327	45,134	1,193
	下半期	39,000	—	4,932	43,932	45,125	▲ 1,193
	今年度	78,330	—	11,000	89,330	89,330	0
	上半期	39,097	—	6,587	45,684	45,684	0
	下半期	39,233	—	4,413	43,646	43,646	0
上半期実績額	4月	4,513	—	1,465	5,978	5,559	419
	5月	5,815	—	1,432	7,247	6,754	493
	6月	6,993	—	1,081	8,074	6,832	1,242
	7月	9,342	—	824	10,166	9,844	322
	8月	5,453	—	638	6,091	6,159	▲ 68
	9月	6,981	—	697	7,678	6,793	885
	今年度 上半期合計	39,097	—	6,137	45,234	41,941	3,293
	前年度 上半期合計	39,330	—	6,053	45,383	44,465	918
	対前年度上半期比				▲ 0.3%	▲ 5.7%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	924	四季の森公園内、高圧負荷開閉器(PAS)交換工（924千円）
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	90,635 人	87,268 人	3.9 %
5月	58,974 人	57,719 人	2.2 %
6月	85,286 人	82,010 人	4.0 %
7月	46,173 人	47,305 人	▲ 2.4 %
8月	45,669 人	50,220 人	▲ 9.1 %
9月	44,429 人	45,450 人	▲ 2.2 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	309,000 人	371,166 人	369,972 人	20.2 %	0.4 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	7 (0)	11 (2)	3 (0)	2 (0)	14 (0)	37 (2)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	公園北口に車を駐車していけないのなら駐輪場はいいの。北口にも駐車場がほしい。	北口は駐車場が無く、路上駐車は近隣の迷惑になるので、南口駐車場の利用をお願いします。
	噴水池の舗装に埋め込まれた注意看板が金属板で、子供が滑ってそれにあたれば大事故になる。	指摘された金属板の縁に、衝撃よけにゴムのカバーを取り付けた。
職員対応	売店「ともしびショップ」の店員は、ありがとうの一言も無かった。	健全者の常駐と、ともしび施設であることをアピールするよう運営する社会福祉法人に要請。
事業内容	駐車場のアイドリングを注意して。	巡視を行い、県のHPから印刷したチラシをお渡ししながらアイドリングストップのお願いをした。
	園内放送がうるさい。	内容を検討し、回数を減らす努力をした。
その他	犬を放してフリスビーをしている。	現場へ行ってルールの説明をし、リードを付けて頂いた。
	犬の散歩が多く咬まれたら危険であると管理事務所に指摘したところ、公園職員から当事者間の問題と言われた。県から指定管理者を指導してほしい。	犬の利用規制は難しいことを説明、指定管理者として自覚した対応をとることを指導した。

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

利用者数については、天候不順の7月以降は若干の減少がみられたものの、全般的には若干増となっており概ね良好である。

収入支出については、節電を実現するためにじやぶじゃぶ池の全体水量を減らしポンプの稼働を極力抑えた運転に変える努力を行ったこと等により、より支出を抑えることができたことは評価できる。

維持管理については概ね良好な管理がなされていると思われる。日常的な樹木管理では、特に利用者の安全確保を優先した対策を講じるなど、大変良好であることが見受けられる。

苦情・要望等に対する対応状況については、コンプライアンス精神が強いあまり苦情者が不快に感じるものが度々あるようだが、相手方に不快感を与えない接遇が望まれるところである。

地域との連携においては、春の公園まつり、七夕、菖蒲開花期間の対応、ホタル鑑賞、夏のじやぶじゃぶ池の運行など、近隣と連携した催しや公園の代表的な行事、ボランティアの協力による森林整備や自然観察会などを積極的に行い、生物図鑑の発行や、来園者からも情報を頂くコーナーを新設するなど、公園の自然を楽しむ方々へのサービス向上に努めていることは評価できる。